

液化石油ガス設備工事検査調書【NO.1】

(バルク貯槽による貯蔵の場合)

工事に従事したLPガス設備士	氏 名	免 状 番 号 等	再講習年月日 (直近のもの)
		県第 号	年 月 日
		県第 号	年 月 日
		県第 号	年 月 日
検 査 責 任 者		立 会 者	検 査 年 月 日
印		印	年 月 日

容器設置関係 (①～⑧は共通事項、⑨～⑭は地上設置の場合、⑮～⑱は地下埋設の場合のみ記入)

① 使用貯槽	特定設備検査合格証 (又は基準適合証) 番号:		
② 表示等	☐ LPガス ☐ 火気厳禁 ☐ 緊急連絡先 ☐ その他 ()		
③ プロテクター	厚さ mm	地下埋設の場合: 蓋部分は厚さ cmの断熱材の裏当有	
④ 貯槽付属機器	☐ 安全弁 ☐ 過充てん防止装置 ☐ 液取弁 (カップリング用液流出防止装置付)		設備場所
	☐ 液面計 ☐ ガス取出弁及び液取出弁 (ガス放出防止器付) ☐ 均圧弁 (カップリング付)		☐ プロテクター内
⑤ 火気制限	火気 (名称:) との距離 m		☐ 隔壁有 ☐ 防爆構造の火気
⑥ 高圧配管内の液滞留防止措置	☐ 単段式調整器		☐ 貯槽プロテクター内設置 ☐ その他 ()
	☐ 二段式一体型調整器		☐ 貯槽直近設置 ☐ その他 ()
	☐ 二段式分離型調整器		☐ 一次側調整器を貯槽プロテクター内設置 ☐ その他 ()
⑦ ローリー車の保安距離	第1種保安物件 (名称:) までの距離		m
	第2種保安物件 (名称:) までの距離		m
⑧ 警報設備等	☐ 有: ガス漏れ検知器を貯槽プロテクター内に設置し、集中監視システムと接続		
	☐ 無: 地上設置で周囲4m以内に高さ1.5m以上の構造物等なし		

☐ 地上設置

⑨ バルク貯槽の保安距離	第1種保安物件 (名称:) までの距離		m
	第2種保安物件 (名称:) までの距離		m
⑩ 構造壁等 (一方向のみ)	☐ 有	有の場合	・30分加熱試験に合格する耐火構造壁
	☐ 無		・幅 m (貯槽幅 m)、高さ m (貯槽高 m)
⑪ 設置方法等	基礎	☐ コンクリート ☐ その他 ()	地盤面からの高さ cm
	固定方法	基礎に ☐ アンカーボルト ☐ その他 () で固定	
⑫ 電氣的接続	☐ 地盤面へのアース線の設置 (断面積 mm ²) ☐ その他 ()		
⑬ 放出管の設置	貯槽頂部からの高さ cm、雨水侵入防止構造		
⑭ 車両接触防止	☐ フェンス ☐ 縁石 ☐ その他 ()		

☐ 地下埋設

⑮ 設置方法等	埋設深さ	地盤面から貯槽頂部まで cm	
	固定方法	コンクリート板に(☐ アンカーボルト ☐ 固定用フレート ☐ 合成繊維性ベルト) で固定	
	標識杭	☐ 貯槽の水平投影面の四隅に設置	
⑯ 漏洩検査設備	☐ ガス検知用孔あき管: 内径 mm、貯槽周囲 cmに設置		
⑰ 電気防食措置	☐ マグネシウム陽極材の設置 ☐ 絶縁ボルト ☐ 絶縁継手		
⑱ 車両乗入防止	☐ フェンス ☐ 縁石 ☐ その他 ()		

液化石油ガス設備工事検査調書【NO.2】
(バルク貯槽による貯蔵の場合)

調整器

種類	メーカー名	型式	容量	基準 (最大消費数量の 1.5 倍以上)		種類・機能
☐ 一体型			kg/h	kg/h × 1.5 =	kg/h	☐ 自動切替式
☐ 二段一次			kg/h	kg/h × 1.5 =	kg/h	☐ 自動切替式
☐ 二段二次			kg/h	kg/h × 1.5 =	kg/h	☐ 自動切替式

気化装置 (☐ 有 ☐ 無)

KHK認定番号	メーカー名	型式	容量	基準 (最大消費数量の 1.2 倍以上)	
			kg/h	kg/h × 1.2 =	kg/h

腐食防止及び損傷防止関係 (供給管及び配管)

項目	細目		露出部		埋設部
			高压部	中低压部	中低压部
① 使用材料	白管 (SGP、JIS-G 3452)	☐ 防食テープ巻 ☐ 防食塗装	—	☐	☐
	圧力配管用炭素鋼管 (STGP、JIS-G 3454)	☐ 防食テープ巻 ☐ 防食塗装	☐	—	—
	プラスチック被覆鋼管 (PLP、JIS-G 3469)		—	☐	☐
	ポリエチレン管 (GPP、JIS-K 6774)		—	—	☐
	金属フレキシブルホース (FP、JIS-G 4305)		☐	☐	☐
	高压ホース		☐	—	—
	低压ホース		—	☐	—
	その他 ()		☐	☐	☐
② 腐食防止措置	防食被覆継ぎ手使用		☐	☐	☐
	絶縁型支持金具使用		☐	☐	—
	絶縁継ぎ手使用		☐	☐	—
	地盤面からの距離 15 cm 以上 (白管・塗装白管の野外設置の場合のみ)		—	☐	—
	立上がり部防食措置 15 cm 以上 (埋設管の場合のみ)		—	—	☐
	その他 ()		☐	☐	☐
③ 損傷防止措置	エルボー継ぎ手の複合使用		☐	☐	☐
	金属フレキシブルホース使用		☐	☐	☐
	伸縮継ぎ手使用		☐	☐	☐
	貫通部のさや管使用		☐	☐	☐
	標識シート (ポリエチレン管埋設の場合のみ)		—	—	☐
	埋設部の深さ	道路下: 公道 (cm)、その他 (cm)	—	—	☐
		道路以外の場所 (cm)	—	—	☐
	その他 ()		☐	☐	☐

配管試験等

部位	試験圧力及び時間		結果
高压部	☐ 耐圧: 2.6Mpa 以上	☐ 気密: 1.56Mpa 以上 (☐ 5 分 ☐ 10 分 ☐ 24 分)	☐ 良 ☐ 否
中圧部	☐ 耐圧: 0.8Mpa 以上	☐ 気密: 0.15Mpa 以上 (☐ 5 分 ☐ 10 分 ☐ 24 分)	☐ 良 ☐ 否
低压部	☐ 耐圧: 0.8Mpa 以上	☐ 気密: 8.4Kpa 以上 (☐ 5 分 ☐ 10 分 ☐ 24 分)	☐ 良 ☐ 否

液化石油ガス設備工事検査調書【NO.3】
(バルク貯槽による貯蔵の場合)

ドレン溜り

☐ 自然気化の場合	直径	A、長さ	cm	☐ 気化装置使用の場合	容量	リットル
----------------------------------	----	------	----	------------------------------------	----	------

ガスメーター

種 類	容 量	基準 (メーター下流最大消費数量の 1.0 又は 1.2 倍以上)
☐ マイコンS・SB・H	kg/h (m ³)	(メーター下流燃焼器合計消費量×同時使用率) kg/h
☐ マイコンII・B・C・L	kg/h (m ³)	(メーター下流燃焼器合計消費量×同時使用率) kg/h
☐ 普通・その他 ()	kg/h (m ³)	" kg/h×1.2= kg/h

ガス漏れ警報器

☐ 有 ☐ 無	設置個数	個	燃焼器からの水平距離	m	床面からの高さ	cm
---	------	---	------------	---	---------	----

遮断装置等

☐ 対震自動ガス遮断器	☐ ガス漏れ警報器連動遮断装置	☐ 圧力検知式漏洩検知装置	☐ 流量検知式漏洩検知装置
------------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------

固定式燃焼器と末端閉止弁との接続方法等

固 定 式 燃 焼 器	接 続 管 類	接続方法	末 端 閉 止 弁
☐ 風呂釜	☐ 金属管 ☐ 金属フレキ ☐ 継手金具付低圧ホース	☐ ねじ接続	
☐ 給湯器	☐ 金属管 ☐ 金属フレキ ☐ 継手金具付低圧ホース	☐ ねじ接続	
☐ 瞬間湯沸器	☐ 金属管 ☐ 金属フレキ ☐ 継手金具付低圧ホース	☐ ねじ接続	
☐ その他 ()	☐ 金属管 ☐ 金属フレキ ☐ 継手金具付低圧ホース	☐ ねじ接続	

燃焼器具関係

燃 焼 器 具 名 称	台 数	消費量 (KW)	屋内設置	燃焼方式	排気筒	排気フード	立消え	不燃防
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
			☐		☐	☐	☐	☐
合 計 消 費 量		KW (kg/h [≒] KW ÷ 1.4)						

最大消費数量計算

共 同 住 宅	Q (最大消費数量) = 戸 数 × 1日平均ガス消費量 (kg/日) × ピーク時最大ガス消費率 kg/h = × kg/日 × %
業 務 用 及 び そ の 他 施 設	Q (最大消費数量) = 燃焼器消費量合計 (kg/h) × 最大同時使用率 kg/h = kg/h × %